

トピックスⅡ

B型肝炎ワクチンを小児に広く接種する方向性を確認

川崎医科大学小児科
中野 貴司

B型肝炎ワクチンは、予防接種制度の見直しについての第二次提言（2012年5月）、予防接種法の一部を改正する法律案に対する附帯決議（2013年3月）にもとづき、定期接種化の必要性が検討されてきました。定期接種化の課題として、小児期の水平感染の実態のさらなる把握、異なる遺伝子型ウイルスに対するワクチンの予防効果に関する検討などが挙げられていました。

第12回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2015年1月9日）、第6回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（2015年1月15日）において、これら技術的課題に関して、これまでの検討結果が報告されました（表1、表2）。そして、B型肝炎ワクチンを仮に国民に対して広く接種機会を提供する場合の対応案が審議され、表3の内容が承認されました。

ただし、これはあくまで技術的検討の結果です。今後、国民に対して広く接種機会を提供する仕組みとして実施するためには、ワクチンの供給・実施体制の確保、必要となる財源の捻出方法などの検討を行った上で、関係者の理解を得るとともに、副反応も含めた予防接種施策に対する国民の理解が必要となります。

以上が、B型肝炎ワクチンの厚生科学審議会での審議の現状ですが、本ワクチンをわが国でも広く小児に接種する方向性が確認され、海外諸国との「ワクチン・ギャップ」を解消する歩みがまた一歩前へ進んだと言えます。

参考資料：

1) 感染症エクスプレス@厚労省（Vol.181, 2015年1月9日）<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/>

- 小児における水平感染事例の報告があるが、大規模疫学調査でのHBs抗原の陽性率は0.025% (95%CI, 0.022-0.027%)と推計された。
- HBc抗体陽性者はHBs抗原陽性者の数倍以上存在することなどから、過去にB型肝炎ウイルスに曝露した小児が一定程度いるものと考えられる。
- 17-21歳においても上記と同様の傾向が見られ、それぞれの陽性率(HBs抗原0.02-0.03%, HBc抗体0.20-0.25%)に大きな差違を認めないことから、幼少期に特定の小児でウイルス感染が生じている可能性などが考えられる。
- 全出生者を対象に予防接種を実施することで、長期的には、B型肝炎による社会的疾病負荷の更なる軽減に繋がるものと考えられる。

第6回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（2015年1月15日） 資料3より
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000071278.html>

表1 小児の水平感染に関する検討について

- 遺伝子型C由来のB型肝炎ワクチンを接種することで、遺伝子型AのB型肝炎ウイルスに対しても予防効果があることが示唆された。
- 我が国に流通する遺伝子型A及びC由来のB型肝炎ワクチンの、いずれの接種によっても、異なる遺伝子型のB型肝炎ウイルスに対する予防効果があると考えられる。

第6回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（2015年1月15日） 資料3より
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000071278.html>

表2 交差反応の検討について

- 予防接種対象年齢は出生後から生後12月までとする。
- 標準的には、生後2ヶ月からのB型肝炎ワクチン接種を実施する(生後2ヶ月、3ヶ月、7-8ヶ月での接種。感染のリスクが高い場合には出生直後の予防も考慮する)。
- 使用するワクチン製剤は遺伝子型A型、C型どちらのウイルス由来の製剤も選択可能とする。

第6回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（2015年1月15日） 資料3より
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000071278.html>

表3 B型肝炎ワクチンを仮に国民に対して広く接種機会を提供する場合の対応案

backnumber/2015-01-09.html

- 2) 第12回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2015年1月9日）資料
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000070705.html>
- 3) 感染症エクスプレス@厚労省（Vol.182, 2015年1月16日）<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/backnumber/2015-01-16.html>
- 4) 第6回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（2015年1月15日）資料 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000071278.html>